

Web技術で実現する

ワンソース・マルチユース 出版プラットフォーム Vivliostyle Pub

Presenter 玉田 晃寛

私たちについて

Vivliostyleとは

- CSS組版を実現するOSSとそのコミュニティ
 - Vivliostyle: (X)HTMLとCSSを解釈し、固定サイズの紙面に再配置(組版)するJavaScriptライブラリ
- 日本での活動が主だが、海外でも盛んに利用・貢献されている
- 本プロジェクトは、Vivliostyleのコントリビュータによって構成されるチーム
- Vivliostyle Foundation (一般社団法人) はOSSを継続して運営していくための活動や、Vivliostyle Pubの普及をサポートする



Vivliostyle Pub

Webと出版をつなぐ Vivliostyle Pub

- CSS組版はこれまでの組版ソフトウェアが抱えている問題を解決するポテンシャルを持つ
 - なぜ普及していないのか？ → 出版業界とWebとの断絶
- Vivliostyle Pubは、誰もがCSSの表現力・柔軟性を使ってデジタル出版物を制作できるクラウドプラットフォーム

Vivliostyle Pubの強み

Fluent UI

ユーザー編集にVilvliostyleがリアルタイムで反応するプレビュー機能
競合ソフトウェアに対する優位点となる快適な編集UI

Theme

CSSによる無限の拡張性・再利用性とVivliostyleによる組版性能を
最大限に活かす文書レイアウトテーマを提供

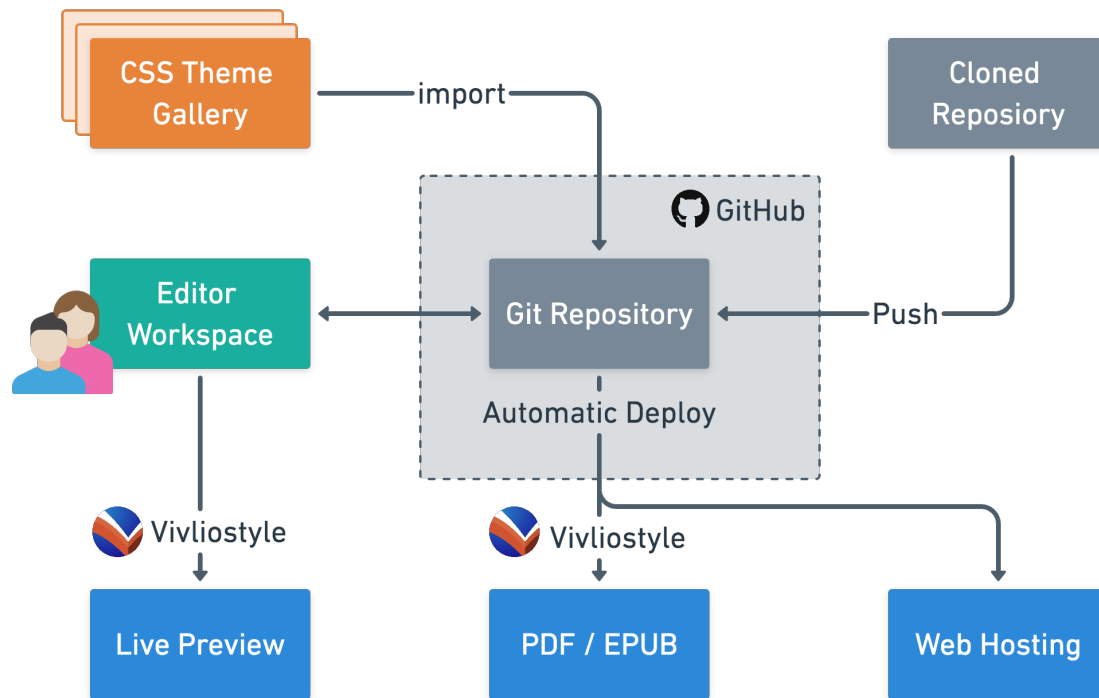
公式テーマに加え、npmを介したユーザーによるテーマギャラリーの公開

Publish

作成した出版物をWeb上に公開する機能を提供

PDFでも、EPUBでも、Webページでも閲覧できる真のマルチユース

Vivliostyle Pubのシステム



将来的にはあらゆるユーザー層に提供することを念頭に置きつつ、現在の
コアユーザー層やCSS組版ワークフローと親和性の高い、Gitリポジトリをベースとした文書管理システム

概念実証デモ

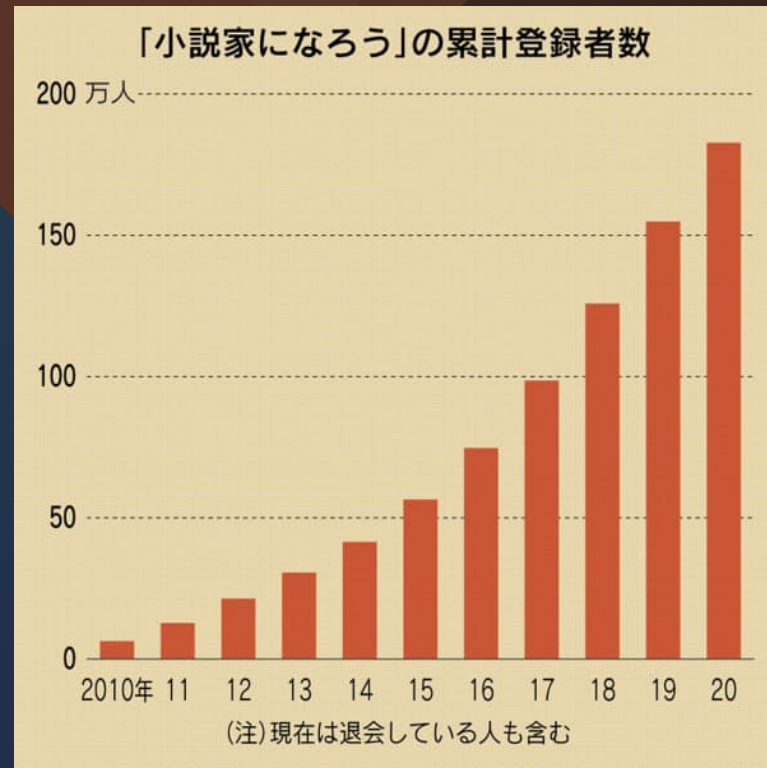
Vivliostyle Pubの将来像

プロジェクト期間後の展開

- プロジェクト期間中は主に技術書の執筆を対象とするが、将来的な展開はそれにとどまることはない
 - **CSS組版**はあらゆる文書組版に適用可能なポテンシャルを持つ
- 紙面とデジタルで媒体を問わないという特徴は、様々な市場への応用が考えられる
 - 技術書、小説、雑誌、eラーニング教材

Vivliostyle Pubが目指すマーケットは？

- 文書を公開・出版する潜在的な需要は高い
 - 投稿サイト「小説家になろう」の登録ユーザー数は現在178万人



作業分担・マイルストーン

2020年 5月

プロトタイプ実装 ✓

いち早くコア機能を実装し、実現可能性を実証する

2020年 8月

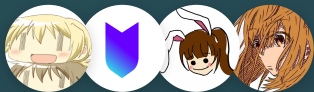
クローズドベータリリース

フィードバックの反映フローを確立させ、ローンチ計画を立てる

2021年 1月

正式ローンチ

ローンチ後のメトリクスをもとに、今後の改善へとつなげる



Webフロントエンド



バックエンド



Vivliostyle Core



VFM (Vivliostyle Flavored Markdown)



公式テーマ制作

OSS開発の原則からは大きく離れない、各メンバーのスケジュールを尊重したアジャイルスタイルの開発体制
ビジネス展開の際は本プロジェクトのメンバーだけでなく、
Vivliostyle Foundation の小形克宏氏にも協力を依頼

Thank you



玉田 晃寛



村上 真雄



上地 泰彰



大崎 瑤



山下 紗苗



中山 貴幸

Appendix



Vivliostyle Flavoured Markdown

Section

This is a paragraph.

```
```js:main.js
export function main() {
 console.log("Hello");
}
```
```

![[logo,caption=Logo](./image.png)]

こんにちは、{世界|World}.



Vivliostyle Compliant HTML

```
<h1>Section</h1>
```

```
<p>
  This is a paragraph.
</p>
```

```
<figure>
  <pre>
    <code class="language-javascript">...</code>
  </pre>
  <figcaption>main.js</figcaption>
</figure>
```

```
<figure>
  
  <figcaption>Logo</figcaption>
</figure>
```

```
<p>
  こんにちは、<ruby>世界<rt>World</rt></ruby>
</p>
```



CSS Theme for Vivliostyle Compliant HTML

```
h1 {
  font-size: 14px;
}
```

```
figure {
  padding: 20px;
}
```

```
img {
  width: 100%;
}
```

```
...
```